

科目番号	37030	科目の分類	助産学実践領域	履修者		助産学専攻科		学年	
科目名 授業	助産診断・技術学 II Diagnosis and Nursing Skills in Midwifery II							1	
								配当セスター	
								前期	
教員名 担当	米山万里枝 / 和田佳子 / 島田祥子 / 古川奈緒子 / 前田のぞみ / 非常勤 (医師・助産師) / 他		区 分	必修	単 位 数	3	時 間 数	90	
講義の到達目標及び概要									
<p>助産診断・技術学 I で学んだ対象理解・助産診断・助産技術・助産ケアの考え方を元に、助産実践に必要な専門的技術を修得する。また、ME 機器を用いた諸検査（胎児心拍モニタリング・超音波診断検査など）、会陰切開・縫合など、今後、助産師に必要なとなる発展的な知識・技術を学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の助産診断に必要な専門的技術を学習し、実践できる。 2. 妊娠・分娩・産褥・新生児期の助産ケア・保健指導の実際を理解し、実践できる。 3. ME 機器を用いた諸検査について理解し、実践できる。 4. 会陰切開・縫合などの医療処置を体験できる。 									
授 業 計 画									
1 回	1. 助産技術の概念 (米山)								
2 回	2. 妊娠期の助産診断 (フィジカルイグザミネーション) に必要な専門技術 (島田)								
3 回	3. 妊娠期の助産ケア・保健指導の実際 (島田)								
4 ~ 7 回	4. 分娩期の助産診断 (フィジカルイグザミネーション) に必要な専門技術① (古川/前田)								
8 ~ 9 回	5. 分娩期の助産診断 (フィジカルイグザミネーション) に必要な専門技術② (古川/前田)								
10 ~ 12 回	6. 分娩介助に必要な専門技術 (フリースタイル分娩技術) (非常勤)								
13 回	7. 産褥期の助産診断 (フィジカルイグザミネーション) に必要な専門技術 (和田)								
14 回	8. 産褥期の助産ケア・保健指導の実際 (和田)								
15 回	9. 新生児期の助産診断 (フィジカルイグザミネーション) に必要な専門技術 (古川/米山)								
16 回	10. 新生児期の助産ケア・保健指導の実際 (古川/米山)								
17~20 回	11. 妊産褥婦のケアに必要なカウンセリング技術 (非常勤)								
21~23 回	12. 産科処置 (会陰縫合術の実際) (医師)								
24~45 回	15. 分娩介助技術演習 (全教員)								
	16. 助産過程の展開 (全教員)								
成績評価の方法	筆記試験 30%、実技試験 70%								
テキスト	<p>吉沢豊予子編：助産師基礎教育テキスト第 2 巻 2017 年版 日本看護協会出版会 (ISBN: 978-4-8180-2022-1)</p> <p>森恵美編：助産師基礎教育テキスト第 4 巻 2017 年版 日本看護協会出版会 (ISBN: 978-4-8180-2024-5)</p> <p>町浦美智子編：助産師基礎教育テキスト第 5 巻 2017 年版 日本看護協会出版会 (ISBN: 978-4-8180-2025-2)</p> <p>横尾京子編：助産師基礎教育テキスト第 6 巻 2017 年版 日本看護協会出版会 (ISBN: 978-4-8180-2026-9)</p>								

	<p>遠藤俊子編：助産師基礎教育テキスト第 7 巻 2017 年版 日本看護協会出版会 (ISBN: 978-4-8180-2027-6)</p> <p>堀内成子編：助産学講座 5 助産診断・技術学 I 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01583-7)</p> <p>横尾京子編：助産学講座 6 助産診断・技術学 II [1] 妊娠期 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01613-1)</p> <p>我部山キヨ子他編：助産学講座 7 助産診断・技術学 II [2] 分娩期・産褥期 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01572-1)</p> <p>横尾京子編：助産学講座 8 助産診断・技術学 II [3] 新生児期・乳幼児期 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01577-6)</p> <p>NPO 法人日本ラクテーション・コンサルタント協会編：母乳育児スタンダード第 2 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-02070-1)</p> <p>日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編：産婦人科診療ガイドライン (産科編 2017) 日本産科婦人科学会</p> <p>仁志田博司：新生児学入門 第 4 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01433-5)</p> <p>細野茂春監：日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく 新生児蘇生法テキスト メジカルレビュー社 (ISBN:978-4-7583-1732-0)</p>
参考図書	<p>荒木勤：最新産科学 正常編 第 22 版 文光堂 (ISBN:978-4-8306-3119-1)</p> <p>荒木勤：最新産科学 異常編 第 22 版 文光堂 (ISBN:978-4-8306-3121-4)</p> <p>日本産科婦人科学会/日本産婦人科医会編：産婦人科診療ガイドライン (婦人科外来編 2017) 日本産科婦人科学会</p> <p>我部山キヨ子他編：助産学講座 2 基礎助産学[2] 母子の基礎科学 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-01837-1)</p> <p>我部山キヨ子他編：助産学講座 3 基礎助産学[3] 母子の健康科学 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-02173-9)</p> <p>我部山キヨ子他編：助産学講座 4 基礎助産学[4] 母子の心理・社会学 第 5 版 医学書院 (ISBN:978-4-260-02186-9)</p> <p>日本助産診断・実践研究会編：実践マタニティ診断 第 3 版 (B5 版) 医学書院 (ISBN: 978-4-260-02493-8)</p> <p>日本助産診断・実践研究会編：マタニティ診断ガイドブック 第 5 版 (B6 版) 医学書院 (ISBN:978-4-260-02445-7)</p> <p>医療情報科学研究所編：病気が見える 9 婦人科・乳腺外科 第 3 版 MEDIC MEDIA (ISBN:978-4-896-32462-4)</p> <p>医療情報科学研究所編：病気が見える 10 産科 第 3 版 MEDIC MEDIA (ISBN:978-4-896-32463-1)</p>
備考	<p>本講は、助産診断技術学 I で習得した知識や原理・助産ケアの実際について演習を通して修得します。着実に知識や技術を定着するために、自己学習を積み重ね研鑽することが必要となります。</p>